

講座「意外と知らない塩と暮らしのお話」を開催しました。

塩と暮らしを結ぶ運動推進協議会では、2018年9月12日（水）、兵庫県伊丹市の「カンスパーク」で、講座「意外と知らない塩と暮らしのお話」を開催しました。

「カンスパーク」は、兵庫県を中心に事業を展開している株式会社関西スーパーマーケット様の「関西スーパー中央店専門店棟」にある、お客様に「憩いの提供」と「食の提案」を行うスペースで、くつろぎスペースや「キッズパーク」、キッチン設備のある「私の台所」が設けられています。

「私の台所」では、お客様への食の提案等のイベントが月に8日程度開催されており、今回は、その一環として、株式会社ソルト関西（全国塩元売協会会員）が、塩と暮らしについてお伝えするため、講座を開催したものです。

当日は、午前の部、午後の部の2回、合計で約20名の方に参加いただきました。まず、日本と世界の塩事情について、クイズを交えてご説明しました。次に、2種類の塩をなめ比べて味の感じ方を試すなめ比べ実験、種類の違う塩を同じスプーンで計ると同じ量（体積）でも重さが違うはかり比べ実験を実施しましたが、それぞれ予想と異なる結果に、皆さま大変驚かされていました。

続いて、①生命維持、②味付け、③食品の保存や加工、④食べる以外の用途（塩の形のまま）、⑤ソーダ工業用（塩から形を変えて）と、多岐に渡る塩と暮らしの関わりについて、順にお伝えしました。

参加いただいた皆さまには、普段よく使う塩についても実は知らないことが多かったと、大変ご好評をいただきました。

